

セミナー資料

ノンプログラミングIoTソリューションIQP
M2Mからビジネスアプリ、多様なニーズに対応

主催：コネクト株式会社

平成26年11月17日
日本IQP株式会社

INDEX

I、会社紹介及びIoTソリューション「IQP」の目指すもの

II、IoT時代に求められる企業の対応力

- ・IoTマーケットニーズと市場規模
- ・IoT時代を勝ち抜くためには
- ・IoTソリューション企業の課題への考察

III、IoTソリューションへの対応

- ・IQPとはIQPの特長と主な用途
- ・IQPを活用したアプリケーション事例
- ・IQPがもたらす付加価値
- ・IQPの活用企業にとってのメリット

I . 会社紹介

- ・日本IQP株式会社は東京に本社を置き日本とイスラエルに研究開発部門を有する日本企業です。
- ・日本の高品質開発力とイスラエルの最新IT技術を融合して 開発されたノンプログラミング方式のMOTソリューション開発ツール「IQP」が今注目されている主力製品です。

2002年12月 WBO Ltd(イスラエル)設立

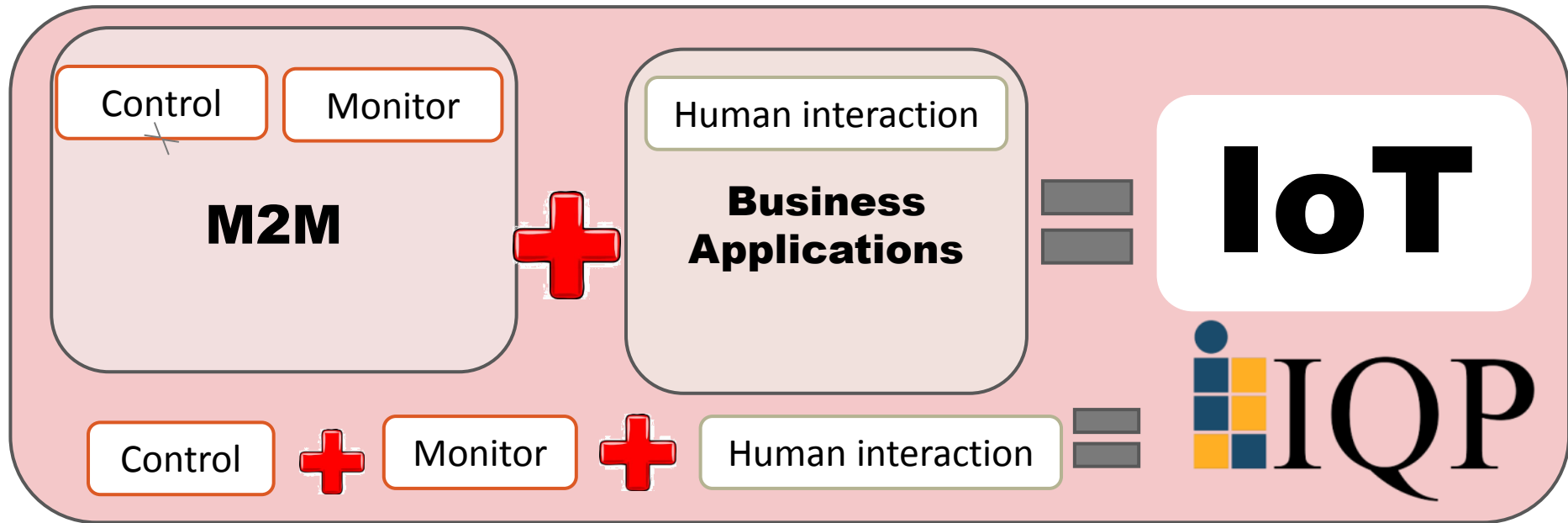
2011年1月 WBO株式会社 設立(本社東京)

2012年2月 WBO株式会社 創業

2014年10月 日本IQP株式会社に社名変更

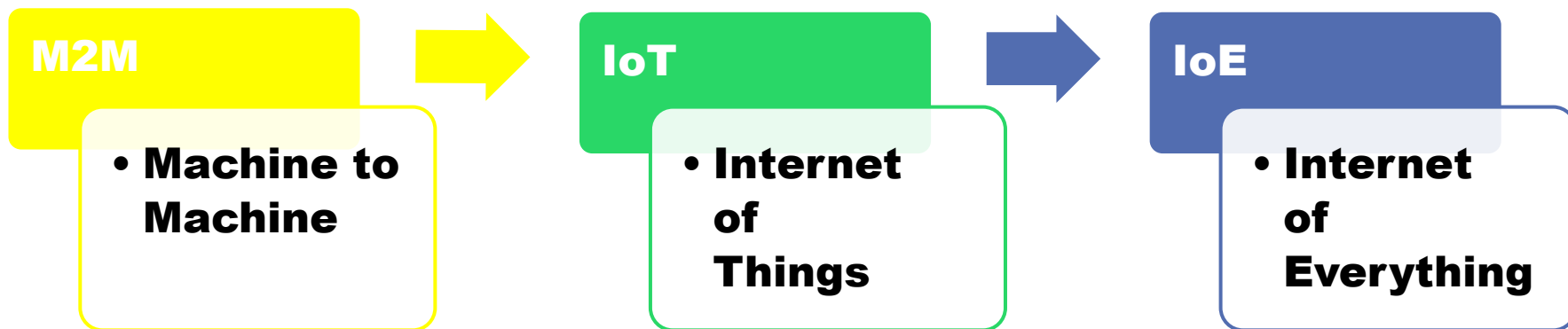
- モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)会員
- 新世代M2Mコンソーシアム会員
- 社団法人 コンピュータソフトウェア協会会員

IoTソリューションモデルとIQP



IQP is an optimum solution to expand User Experience

IQP の挑戦



旧来型アプリ開発

高技術レベル
高開発コスト
高保守コスト
長期に渡る開発期間

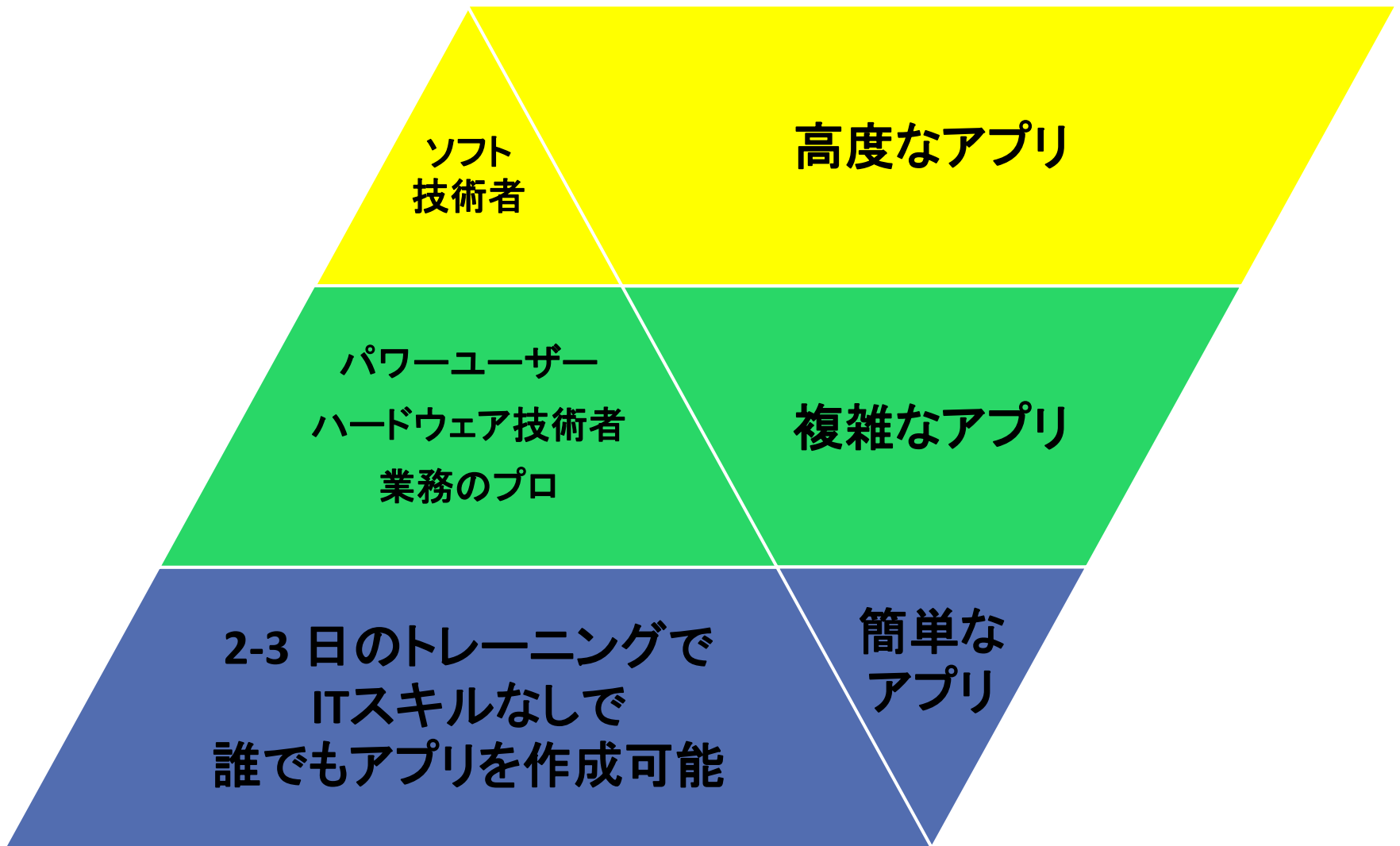
セミ UI 自動化ツール

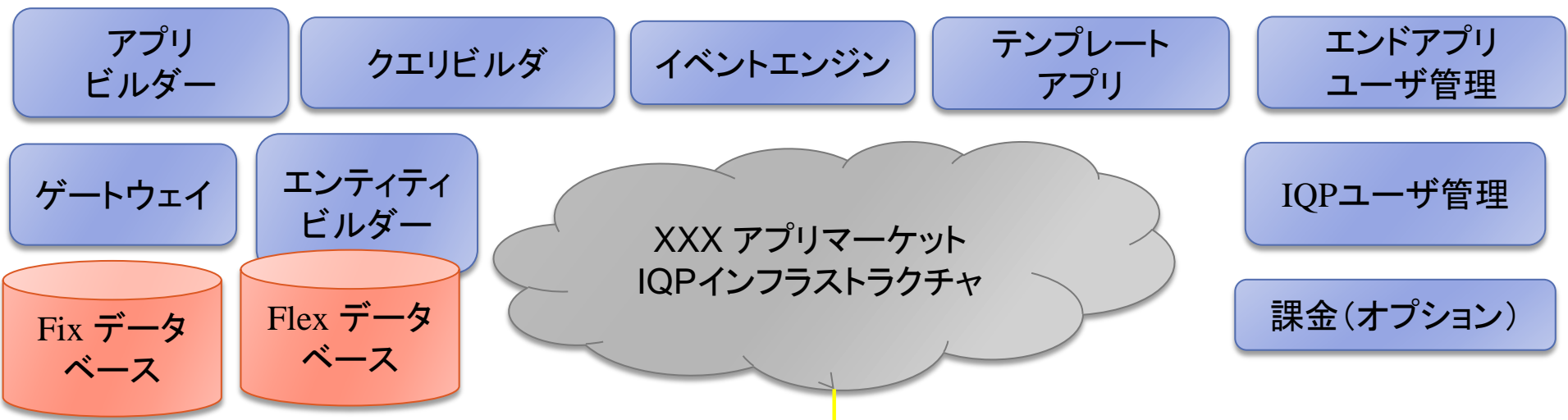
技術者レベルのスキル
高保守コスト
長期に渡る開発期間

IQP 自動化ツール

誰でもIQPを使用可能
低コスト
短期開発
短期カスタマイズ

IQP ターゲット ユーザー

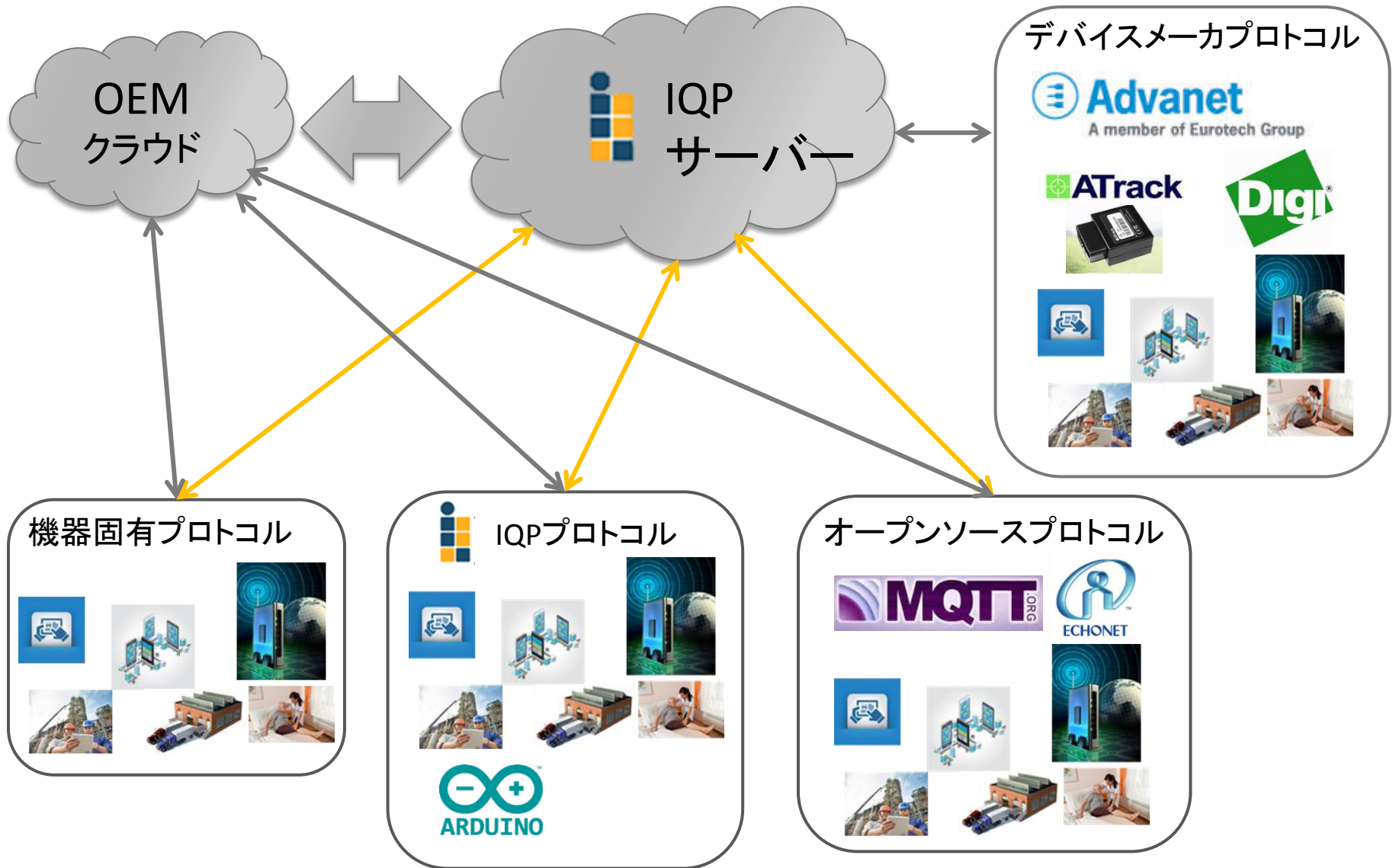




XXX APP Store



IQPはマルチデバイス、マルチプロトコル対応

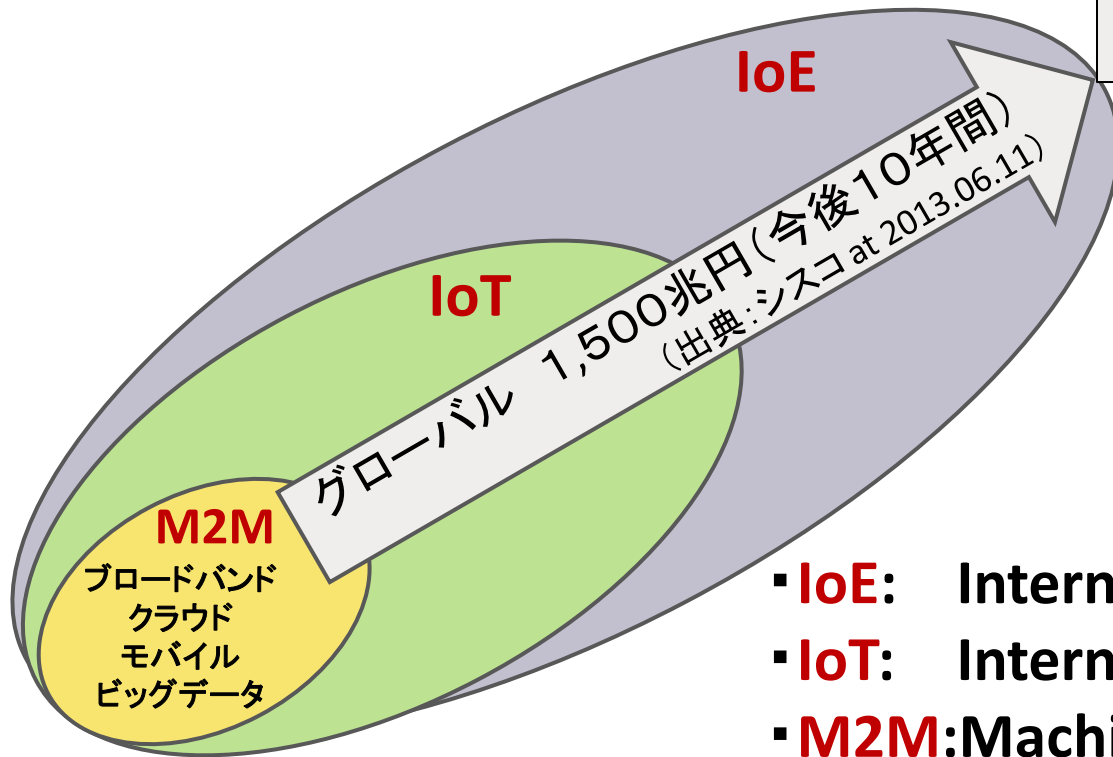


M2M/IoT/IoE マーケット

Hybrid Software Solution

人
プロセス
データ
モノ(デバイス)

の統合！



- **IoE**: Internet of Everything
- **IoT**: Internet of Things
- **M2M**: Machine to Machine

7つのキーワード

- 1、ブロードバンド
- 2、クラウド
- 3、モバイル
- 4、ビッグデータ
- 5、マルチデバイス
- 6、音声、画像、動画、地図、グラフ
- 7、グローバルビジネス

IoT時代を勝ち抜くためには！

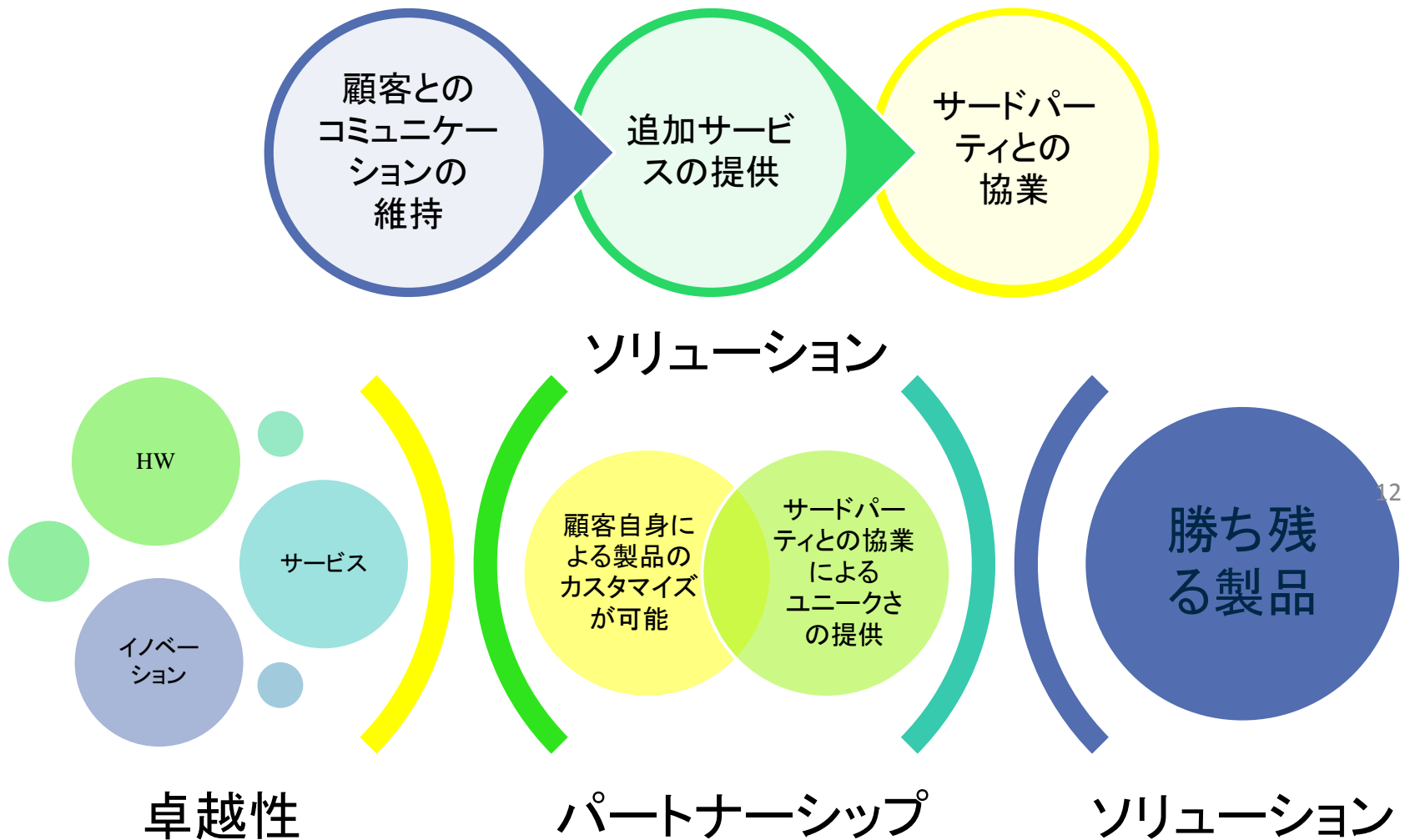
①利用者のニーズや要求に素早く対応し業務アプリやサービスを変革していく必要あり

- その為には従来形のアプリの作り方ではフレキシブルに対応出来ない
- そこでノンプログラミング方式のIQPが求められている

②キーワードはスピードと革新とフレキシブル対応の3本柱

- 現在の日本企業は利用者と開発者の距離が遠いと言われている
- IQPはその距離を縮める役割を持つ

日本企業がグローバル市場でビジネス展開するための要件



ITソリューション企業の課題への考察

■ 課題

- 1、社員1人あたりの生産性をいかに高めるか
- 2、取引先との取引額と取引の継続性
- 3、新規取引先をいかに開拓するか
- 4、外注コストの見直しと削減
- 5、実績のあるIT技術者をいかに育成かつ確保するか
- 6、SW利用技術をいかに高めかつ社内蓄積するか
- 7、アライアンスビジネス(協業)への対応力向上
- 8、グローバルビジネスへの対応力向上

IQPとは

- Webアプリケーション開発のための開発環境
 - UI操作のみで全てノンプログラミング
 - PCブラウザ上で開発
- Webアプリケーション実行のための実行環境
 - PC/タブレット/スマートフォン
 - レスポンシブ表示に標準対応
 - マルチデバイス、マルチOS対応
- 豊富なサーバ/ゲートウェイ間の接続プロトコルに対応
- インストール先: プライベートクラウド、PCサーバ、パブリッククラウド、WBOクラウド
- ビジネスアプリ/M2Mアプリの開発、拡張、変更など容易かつ短時間で行えます。特に画像、グラフ、地図の扱いが容易

ご紹介ビデオをご覧ください。

IQPの特長と主な用途

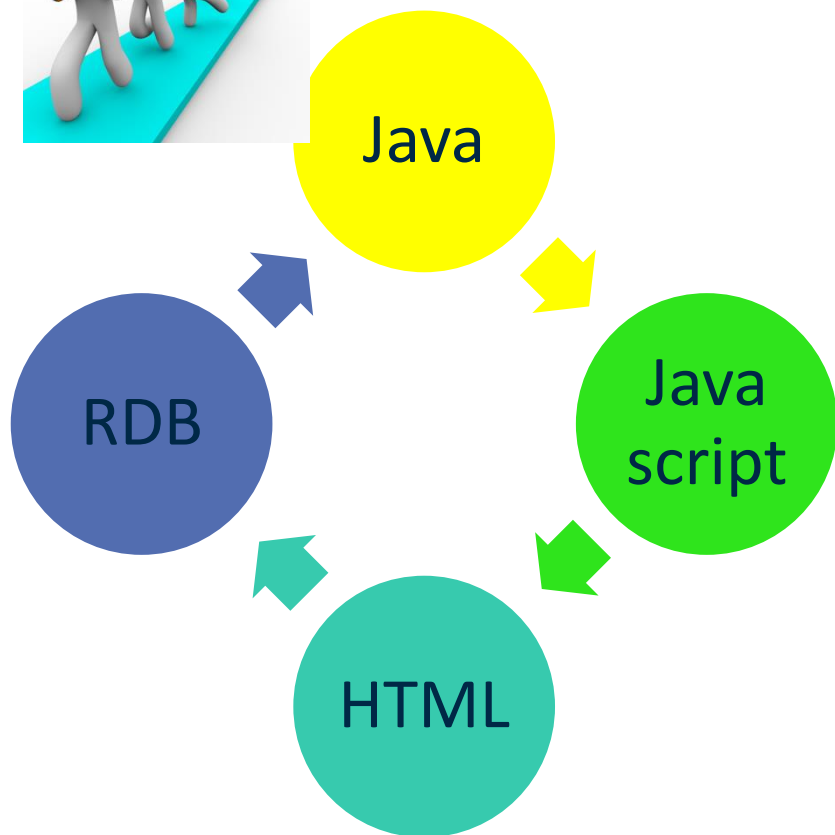
主な特長

- ✓ ノンプログラミング方式で簡単に迅速かつ容易にウェブアプリの開発が可能(専門知識不要)
- ✓ システムの開発、変更やカスタマイズ及び保守が容易
- ✓ 豊富なデータベース対応
- ✓ マルチデバイス、マルチOS対応

主な用途

- ✓ M2Mアプリケーションの開発
- ✓ ビジネスアプリケーションの開発
- ✓ アプリストアの構築
- ✓ PC、タブレット、モバイルデザイン及び設計

旧来型開発



IQPによる開発



IQPを活用したアプリケーション事例

- ・フリートマネージメント、アセットマネージメント
- ・車両及び輸送トラッキング
- ・ファクトリーオートメーション制御
- ・グリーンハウス、環境モニタリング及び制御
- ・スマートハウス、スマートオフィス及び制御
- ・パワープラントセンサー監視
- ・テレマテックスアプリ
- ・ビッグデータのビジネス処理、分析
- ・地図アプリケーション
- ・フィールドサービス管理
- ・オフィス、セキュリティ施設アクセス監視
- ・在宅医療システム
- ・教育分野とスマートTVスクール
- ・その他各種ビジネスアプリ

IQPがもたらす付加価値

IQPはROI(投資対効果)を向上させるシステム

- ✓ 製品に新たな機能と拡張性を付与
- ✓ 製品に新たなサービスを追加
- ✓ 製品の運用コストを削減
- ✓ 製品の市場投入準備期間の短縮
- ✓ 製品及びシステムの新たなビジネスモデルの創出
(ハードウェア+サービスのソリューションの提供)

IQPの活用企業にとってのメリット

- ① IoE、IoTマーケットへの対応力を高める
(クラウド、データベース、モバイル、マルチデバイス)
- ② 利用者の多様なニーズへの対応力を高める
- ③ 既存のシステムや製品の拡張性や付加価値を高める
- ④ IT技術者不足を補い外注コストを削減
- ⑤ ハードウェア+サービスのソリューションビジネスを充実させる
- ⑥ 手離れが良くシステムの保守、カスタマイズが容易

お問い合わせは、こちらまで

IQPアライアンスパートナー

コネクト株式会社

〒111-0051 東京都台東区蔵前3-6-7

蔵前イセキビル4F

Tel 03-5809-1853 FAX 03-3865-8220